

【メールまたはFAXでご提出ください】

【送付用 1/3】

【件名】第44回日本整形外科学スポーツ医学会学術集会 アドレス：drat-kakunin@japan-sports.or.jp

出席確認カード提出

FAX 送信先：03-3481-2284

【本文】以下の4項目を必ず記載してください。

送付期限：2018年9月21日(金)

①登録番号(数字7桁) ②カナ氏名 ③生年月日(西暦)

④提出方法(携帯またはPCから送信)

【添付ファイル】出席確認カード(両面で3ページ)

※右のQRコードを読み取るとメールが立ち上がります。

※本アドレスは送信専用アドレスです。送信後自動返信メールが届きます。



日本スポーツ協会公認スポーツドクター・アスレティックトレーナー義務研修
第44回日本整形外科学スポーツ医学会学術集会

出席確認カード

登録番号(7桁)								生年月日(西暦)
フリガナ								年 月 日
氏名								
保有資格 (○をつけてください)		公認スポーツドクター						
		公認アスレティックトレーナー						

<指定演題>

<9月7日(金)>

NO.	開始時間	終了時間	時間	会場	セッション形式	演題名	聴講
1	8:30	9:30	60分	第1会場	特別講演1	Low Back Pain Management for the Athlete	
2	9:30	11:00	90分	第3会場	特別企画1	国立スポーツ科学センターにおける女性ジュニアアスリートへのサポート ジュニア・フィギュアスケート選手の外傷・障害の特徴とその課題 婦人科医の視点からみた女子選手の健康管理 ジュニア期に女子アスリートを栄養サポートする重要性 新体操ジュニアの問題と対策	
3	9:45	10:45	60分	第1会場	教育研修講演1	スポーツによる脊髄損傷と神経再生医療	
4	9:45	10:45	60分	第2会場	教育研修講演2	レジデントが見逃しやすいスポーツ外傷・障害—画像診断と医療安全—	
5	13:20	14:20	60分	第1会場	文化講演	生きる～世界の山から学んだこと～	
6	14:30	15:30	60分	第1会場	教育研修講演3	青少年野球選手の肩肘障害予防 —全国アンケート調査と直接検診の結果より—	
7	14:30	16:00	90分	第2会場	パネルディスカッション1	スポーツ選手の単発部痛／股関節痛 寛骨臼関節唇損傷症例に対する理学療法の有効性の検討 スポーツ選手に対する股関節鏡手術の適応—頻度と理由— 早期復帰を目指した股関節鏡視下手術とリハビリテーションの実際 エリートアスリートでの股関節鏡手術：エリート男性と女性アスリートの比較 アスリートの 大腿骨寛骨臼インピンジメントに対する100%を超える復帰支援 股関節鏡視下手術	
8	14:30	16:00	90分	第3会場	特別企画2	女性トップアスリートの整形外科的および女性医学的問題点 なでしてジャパンのメディカルサポートを通して 女子アスリート支援～水泳競技の帯同を通じて 婦人科スポーツドクターによる女性アスリート支援 女性トレーナーが女性アスリートに行うべきこと	

裏面および次ページも必ずご覧ください。

NO.	開始 時間	終了 時間	時間	会場	セッション形式	演題名	聴講
9	16:10	17:40	90分	第2会場	パネルディスカッション2	足部・足関節スポーツ障害からの復帰—100%以上のスポーツ復帰に必要なもの— 足部足関節スポーツ傷害に対する100%以上のスポーツ復帰： 保存療法における Knack & Pitfalls 100%以上のスポーツ復帰：保存療法におけるリハビリテーション 足底腱膜炎からの100%以上のスポーツ復帰：保存療法と手術療法の使い分け 足関節外側靭帯損傷からの100%以上のスポーツ復帰 足関節外側靭帯損傷に対する術後早期のリハビリテーションアプローチ ～100% 以上のスポーツ復帰へのチームアプローチ～	
10	16:10	17:40	90分	第3会場	特別企画3	年代別の女性スポーツ指導におけるポイントと注意点 ～ストレッチ やラジオ体操、ヨガ、ピラティス等～ 超高齢社会における骨盤底筋トレーニングの意義と可能性～「PilatesTM」を中心に～ シニア女子がはじめる機能改善のためのピラティス アンチエイジングと運動 シニア女子のからだとスポーツ栄養	

<9月8日(土)>

NO.	開始 時間	終了 時間	時間	会場	セッション形式	演題名	聴講
11	13:30	14:30	60分	第1会場	招待講演1	Arthroscopic Bioabsorbable Screw Fixation of Unstable Osteo- chondritis Dissecans in Adolescents: linical Results, Magnetic Resonance Imaging, and Second-Look Arthroscopic Findings ACL Reconstruction with Quadriceps Tendon Using Modified Trans-Tibial Technique	
12	13:30	14:30	60分	第2会場	特別講演2	A Novel Needleless Knot: From Biomechanical Research to Clinical Practice	
13	14:40	16:10	90分	第1会場	特別企画4	Motor Control 機能不全による運動器障害発生メカニズム モーターコントロールの指導の実際～Core Power Yoga CPYR～ 動作評価に基づく段階的 Stability/Motor Control トレーニング 全身的动作トレーニング (HUMAN NATURAL MOVEMENT トレーニ ング) が選手に与える運動感覚向上について モーターコントロールの指導の実際～スポーツ整形外科医の現場から	
14	14:40	16:10	90分	第2会場	パネルディスカッション3	ラグビーにおける肩関節脱臼受傷起点とその対策 関節窩骨欠損の病態からみた治療方針 Bankart 修復術の徹底とプラス α について コリジョンスポーツの外傷性前方不安定症に対する術式選択 Remplissage 法と ASBB 法 Bankart Bristow 法の合併症や問題点 コリジョンアスリートに対する鏡視下 Bankart & Bristow 変法術 後競技復帰までの理学療法	
15	14:40	16:10	90分	第3会場	パネルディスカッション4	腰椎分離症（疲労骨折）の保存療法における治療成績とその問題点 不成功例から学ぶ腰椎分離症保存治療の難しさ 腰椎分離症の分離部骨癒合促進を目的とした低出力超音波パルス 治療（LIPUS）の応用 腰椎分離症の脊柱骨盤矢状面アライメント 発育期腰椎分離症のリハビリテーション—装具療法期間からス ポーツ完全復帰まで— 科学的根拠に基づいたリハビリテーションプログラムの確立	
16	16:20	17:20	60分	第1会場	教育研修講演4	膝関節鏡視下手術のポイント—合併症から学ぶ医療安全—	
17	16:20	17:50	90分	第2会場	パネルディスカッション5	肘内側支持機構の微細構造 内側支持機構の画像診断—高分解能 MRI とエコーから見えてきた病態— 学童期内側上顆障害の治療と予後 肘内側側副靭帯損傷の治療—主論文のレビューから～ 19歳までの投球動作と運動器機能の特徴 小・中・高校生の身体機能の特徴と対応	

NO.	開始 時間	終了 時間	時間	会場	セッション形式	演題名	聴講
18	16:20	17:50	90分	第3会場	パネルディスカッション6	チームドクターとして携わる腰椎椎間板ヘルニア 高校生アスリートの PED コンタクトアスリートに対する PED 療法 100%を超えるための運動療法～corrective exercise の考え方 100%を超える術後リハーJoint by Joint theory に基づくアプローチ モーターコントロールから始まる100%を超えるリハビリテーション&コンディショニング	
19	17:30	18:30	60分	第1会場	教育研修講演5	アスリートからのアンチ・ドーピングと医療倫理	

<9月9日(日)>

NO.	開始 時間	終了 時間	時間	会場	セッション形式	演題名	聴講
20	8:30	10:00	90分	第2会場	パネルディスカッション7	スポーツによる舟状骨骨折―新鮮骨折、遷延治癒例についての検討― 舟状骨骨折・偽関節および疲労骨折の治療戦略 野球選手における有鉤骨鉤骨折の治療 舟状骨／有鉤骨以外の手根骨傷害 スポーツ選手のキーンベック病 スポーツによる手関節障害・外傷におけるハンドセラピー	
21	9:40	11:10	90分	第1会場	特別企画5	チームドクターとしての内科医の役割 スキー競技におけるメディカルサポート 平昌オリンピックにおける女子アイスホッケーチームの医科学サポート ショートトラックにおけるメディカルサポート 平昌オリンピックスピードスケートメディカルサポート～障害予防から育成・強化へ～	
22	10:10	11:40	90分	第2会場	パネルディスカッション8	前十字靱帯損傷に対する保存療法による競技復帰 前十字靱帯再建後スポーツ復帰に影響する因子の検討―臨床の現場から― ACL・半月板合併損傷の治療戦略 ACL 再建術後の再損傷予防―ACL 損傷メカニズムの観点から― 現場における ACL 損傷膝・再建膝の復帰プログラム ACL 再建術後のリハビリテーション	

合計時間： 分

<ネームカード貼付欄>

※必ず学会ネームカードのコピーを貼付してください。参加証、領収証、領収証控、公認スポーツ指導者登録証は不要です。
 ※公認アスレティックトレーナーは BLS 資格の認定証（写）を併せて貼付してください。貼付がない場合、義務研修の実績になりません。